

新しいビジネスで岡山を盛り上げる スタートアップ企業が増えています

Startup

株式会社ほいらく

「保育をらくに楽しく」をコンセプトに、保育園の検索ポータルサイト「ほいらく」を運営。

保活を取り巻く課題をビジネスで解決したい

「ももスタ」のおかげでカタチにできました

1人目の妊娠中に切迫早産で会社を退職し、専業主婦に。2人目の出産前に保育園探しに奔走しましたが、当時は待機児童の問題もあり本当に大変でした。保育園の情報収集がアナログで苦労したことから、保活を変えたい気持ちが高まり起業を決意。偶然見つけた「ももスタ」の創業スクールに応募し、子育てしながら準備を進めました。「ももスタ」のおかげで、事業の相談ができる先輩や仲間ができ、従来の保活を変える一歩を踏み出せました。何事も行動しないと始まらないので、起業を考えている人はぜひ「ももスタ」に足を運んでみてください！

「ももスタ」の
創業スクール出身

代表取締役社長

大津 朱里 さん

おおつ あかり

2児の子育てママ。保活（保育施設を探す活動）の経験をきっかけに令和3年起業。ポータルサイトの全国展開を視野に入れ、準備を進めている。



市内の全保育施設の情報を集めたポータルサイト「ほいらく」

家族や周囲の応援、利用者や保育園の声が進みになると大津さん



令和3年「ビジネスコンテストJapan大会」で「社会起業家大賞」を受賞

Startup

アーティスト

株式会社ARTEE

イラストなどを制作するアーティストのためのプラットフォーム「ARTEE」を展開。会員数は約11,000人。

アーティストの活躍の場を広めながら

学生起業家のロールモデルを目指します

学生時代から起業に興味があり、ビジネススクールにも通っていましたが。そのとき、才能豊かなアーティストでもアートだけでは食べていけない現状を知り、彼らが活躍する場を広げる仕組みを考案。当時は今のようなスタートアップ支援もなかったので、ビジネスコンテストでの受賞を機に、独学で勉強しながら事業を始めました。起業は全て自分で考えて進めていく大変さがありますが、やりがいがあり、普段なら出会えないような人と一緒に新しい価値やサービスを生み出すこともできます。私が20代のうちに「岡山拠点の学生起業家」の成功事例になりたいと思っています。

代表取締役社長

大西 徹 さん

おおにし とおる

岡山イノベーションスクール1期生として学び、「岡山イノベーションコンテスト」で大賞を受賞。平成30年大学院在学中に起業。地元企業らと一緒に岡山のアートを盛り上げる活動も行う。



「ももスタ」の学生向け起業セミナーで講師も務める

地元企業と「岡山」をテーマとしたイラストコンテストを開催

アーティストの可能性が
広がるきっかけに



岡山市は農業も応援しています！

就農や経営革新もサポート

新たに農業にチャレンジしたい人や、農業経営者になりたいといった意欲ある就農者に向けて、市では多角的な支援を行っています。

就農準備から経営開始まで段階に応じてサポート

国や県の制度による農業研修や補助事業に加え、就農の準備段階に応じた市独自の就農支援の制度を設けています。支援を活用し新規就農した人や、資格を取得し事業を拡大した中堅の農家まで、さまざまな就農事例をご紹介します。



就農や
大規模経営について
話を聞きました

100点満点の実りを
ずっと目指し続けます

就農11年目

01 タマネギ・カボチャ・米麦農家
竹林 秀敏 さん
たけばやし ひでとし

平成22年就農。児島湾干拓で生まれた広大な農地で、高効率農業を実践。若手の就農モデルとなる理想の農業スタイルの確立を目指して奮闘中。

時代が求める安全安心の食を
自分自身で生み出したいと考えた

食品会社勤務から、安全安心、ヘルシーな食を自ら提供したいと転身。米農家の親戚の手伝いからはじめ、現在17ヘクタールの農地で、タマネギや麦などと水稻の二毛作スタイルで営農しています。また干拓地である南区藤田ならではの先進農機による作業効率化も進めています。試行錯誤を繰り返し、これからもチャレンジを続けます。

酒造好適米やカボチャも自慢の産品。収穫量が多く、品質の良さも評判



ブランド化がすすむ「藤田たまねぎ」。消費者の「おいしい」の声がやがりがい

さまざまな公的支援を活用し

ゼロからの大規模農業経営を実現

就農初期には、市の「農業次世代人材投資事業(経営開始型)」の給付支援をいただき、無理のないスタートができました。その後、経営拡大に向けて市の認定農業者資格を取得。この制度は、私たち農業経営者の経営計画を認定していただくことで、金融などを含めた総合支援が受けられるシステム。夢を具体的な数字として表すことで、自身の将来を明確化するメリットもあります。



就農6年目

有機無農薬野菜栽培農家
02 戸島 弘幸 さん
としま ひろゆき

昭和45年大分県生まれ。東京暮らし20年余、東日本大震災をきっかけに岡山に移住。土いじりの好きな妻と趣味で畑作を始める。岡山市高松有機無農薬野菜生産組合「みどり会」。



岡山に脈々と受け継がれている先進的な有機無農薬野菜生産が学べた

岡山に移住し、人と自然にやさしい農業に魅せられました

公的支援を活用して農家に転身

家族が食べる野菜を夫婦で作ってみようと畑仕事を始めたのがきっかけです。年々野菜作りが楽しくなってきたこともあり、「できるものなら農家として一本立ちしたい」と考えるようになりました。不安もありましたが、就農への道を探る中で、県や市の新規就農研修制度を知りました。

そこで、有機無農薬農法の普及に取り組む「みどり会」に出会いました。

妻の協力も力強い支えになりました



高度な有機無農薬農業を習得

2年にわたる農業実務研修で、先進農家の農作業を実体験できました。これが農業経営開始への第一歩です。あとから北区の高松地域が国内屈指の有機無農薬農業先進地だと知って驚きました。高度な栽培技術の片りんに触れ、「私たちもやろう」と決心できました。

支援を利用してよかったこと

農業の基本をしっかり学べました。先輩のお世話で農地も確保でき、新規就農に思い切って挑戦したことで、家族と充実した人生を歩んでいます。

祖父母の故地に根を下ろし岡山の桃ブランドを全国へ

就農2年目

桃農家
03 高木 直哉 さん
たかぎ なおや

昭和60年長野県生まれ。幼い頃から、母方の実家がある岡山の桃のおいしさを知る。岡山の大学卒業後、東京での会社員生活を経て岡山に戻る。JA岡山・一宮選果場果樹部会。

桃づくり名人に勧められ

岡山での就農を決意

学生時代、桃農園での軽作業を経験。8年前、祖父の病を機に岡山に戻り、バイト先の桃園主の勧めもあって就農の道を探るように。ぶどう農家やトマト農家のもとで仮働きをして農作業の経験を積みながら、JAに相談。県や市の担当者を紹介してもらい、県内のさまざまな産地、栽培品目、就農地などを検討できました。

自分で開墾、自分で経営する手応えがいい



晴れの国で農業人になろう！
市の農業支援制度

農業を始めるために、まず身に付けておかないといけないのが栽培技術。市では農業の入門的な研修から農業経営を見据えた実践的な研修までコーディネートしています。

✓ 農業未経験の人でも就農に向けて前進できるように後押しします

✓ 栽培技術は市の農業を支える優良な農業者から直接指導してもらえます

就農に関する相談・問い合わせ

岡山市就農サポートセンター
☎086-803-1347

北区大供一丁目1-1
岡山市役所本庁舎5階 農林水産課内
e-mail : nousui@city.okayama.lg.jp

詳細はこちらをチェック





「とにかくおいしい桃は岡山にしかない」。それが高木さんの原点

大好きな桃を全国に届けたい

結果、やはり桃を選びました。一番の理由は桃が好きだから。自分の好きな岡山の桃を全国に届けたいと、令和3年4月から1ヘクタール弱の果樹園で桃づくりを始めました。この農地は、農業実務研修中にJA岡山や一宮選果場果樹部会で紹介していただきました。今は、近所の農家さんとコミュニケーションをとりながら、条件がよさそうな勾配の少ない耕作放棄地を造成したりと、農地の確保に努めています。

支援を利用してよかったこと

栽培品目選びから研修、経営開始時の経済的サポートまで総合的なバックアップ体制が整っていて心強かったです。



研修1年目

04 ぶどう農家(研修中) 尾崎 壮一郎 さん

平成7年、美咲町生まれ。サラリーマン家庭に育つが、友人の影響で農業に目覚め、郷里周辺で就農を模索。令和2年春、岡山市東区に転入。

3年越しの夢
農家になる道を
岡山で見つけました

いよいよぶどう農家への第一歩を踏み出す

「農業をやろう」と決めて、地元エリアでの就農に向けて活動しましたが、ゼロから就農できる方法が簡単には見つからず、2年数カ月、自己資金をこつこつ貯めていました。令和3年5月に参加した岡山地域就農オリエンテーションで岡山市東区の草ヶ部、中尾、谷尻、沼、上道北方地域のぶどう生産者で組織する「丸草出荷組合」に出会いました。

伝統の地で培われた

ノウハウを伝授

「丸草出荷組合」に、新規就農研修生として迎えてもらい、現在約5アールのハウスでシャインマスカットやピオーネ栽培のノウハウを教えてもらっています。明治時代からの伝統ある産地なので、技術の蓄積も膨大。覚えることが多くて大変ですが、がんばりたいと思います。



支援を利用してよかったこと

農家出身ではない僕には、伝統産地の皆さんが市と一体となって農家になれるように支援してくれる「就農促進トータルサポート事業」がぴったりでした。

新規就農を希望される皆さんに「体験研修制度」も用意しています

対象	市内での就農を希望している65歳未満の人
農業インターンシップ研修	<p>実地での農業体験の機会を提供する研修。次の3コースを設定しています。</p> <p>①ワンデイ・トライアルコース(1日) 農業に興味と不安をお持ちの人向けの入門的な研修</p> <p>②セレクト体験コース(10日以内) 体験したい作目の農作業の時期・期間・作業を選択しての研修</p> <p>③1サイクル体験コース(15日以内) 実践的研修や実際の就農に向けて、就農希望作目の主な農業1サイクルを体験する研修</p>
先輩就農者インタビュー研修	先輩就農者の体験談を対談方式で聴講する研修

※この他に、より実践的な研修である「就農促進トータルサポート事業」の研修もあります。